



2023年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年6月9日

上場会社名 株式会社ミロク 上場取引所 東
 コード番号 7983 URL <https://www.miroku-jp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 弥勒 美彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 古味 俊雄 TEL 088-863-3310
 四半期報告書提出予定日 2023年6月13日 配当支払開始予定日 2023年7月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第2四半期の連結業績（2022年11月1日～2023年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第2四半期	5,960	6.4	523	8.1	653	15.5	433	17.7
2022年10月期第2四半期	5,600	—	484	—	565	—	368	—

(注) 包括利益 2023年10月期第2四半期 631百万円 (51.4%) 2022年10月期第2四半期 417百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第2四半期	146.98	—
2022年10月期第2四半期	124.85	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年10月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第2四半期	20,325	15,226	74.9
2022年10月期	19,272	14,654	76.0

(参考) 自己資本 2023年10月期第2四半期 15,226百万円 2022年10月期 14,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2023年10月期	—	20.00	—	—	—
2023年10月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年10月期の連結業績予想（2022年11月1日～2023年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,040	5.0	790	19.7	950	17.4	620	21.1	210.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年10月期2Q	3,005,441株	2022年10月期	3,005,441株
② 期末自己株式数	2023年10月期2Q	55,168株	2022年10月期	55,126株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年10月期2Q	2,950,279株	2022年10月期2Q	2,950,435株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として物価高が続く状況ではありましたが、政府による各種政策の効果もあり、個人消費や設備投資に緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方、海外においてはウクライナ情勢の長期化によるエネルギー価格の高騰、インフレの加速等はあるものの、先行きは緩やかな持ち直しが続くことが期待されております。

このような状況のもと、当社グループは会社に関わるすべての人々に比類のない喜びと感動を与えるため、高品質な製品とサービスを世界へ提供することをミッションに、グループ一丸となって業績向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,960百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は523百万円（同比8.1%増）、経常利益は653百万円（同比15.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は433百万円（同比17.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（猟銃事業）

米国市場は、景気が緩やかな持ち直しの状況が続いており、個人消費及び雇用者数は増加し、当社製品のOEM供給先であるブローニンググループからの受注は堅調に推移しております。特に主力製品である上下二連銃の付加価値の高い製品が好調であったことや、すべてのモデルでフル生産の状況が続いたこともあり、売上高は4,964百万円（前年同期比9.7%増）、セグメント利益（営業利益）は527百万円（同比25.6%増）となりました。

（工作機械事業）

機械部門及びツール部門の販売は、低調に推移しました。加工部門の売上高は前年同期並みでありましたが、利益は前年同期に比べ減少しました。その結果、売上高は981百万円（前年同期比7.5%減）、セグメント利益（営業利益）は129百万円（同比29.4%減）となりました。売上高につきましては、セグメント間の内部売上高6百万円を含んでおります。

（その他事業）

その他事業の売上高は23百万円（前年同期比13.1%減）、セグメント損失（営業損失）は2百万円（前年同期は0百万円の利益）となりました。売上高につきましては、セグメント間の内部売上高1百万円を含んでおります。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

資産合計は前連結会計年度末に比べて1,052百万円増加し、20,325百万円となりました。

主な要因は、現金及び預金が190百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が319百万円、棚卸資産が665百万円、投資有価証券が432百万円増加したこと等によるものであります。

（負債）

負債合計は前連結会計年度末に比べて481百万円増加し、5,098百万円となりました。

主な要因は、流動負債その他が335百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が137百万円、1年内返済予定の長期借入金が300百万円、長期借入金が200百万円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

純資産合計は前連結会計年度末に比べて571百万円増加し、15,226百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が373百万円、その他有価証券評価差額金が214百万円増加したこと等によるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,814,904	1,624,144
受取手形及び売掛金	1,862,188	2,181,793
棚卸資産	5,085,957	5,751,247
その他	462,461	408,502
貸倒引当金	△52	△46
流動資産合計	9,225,459	9,965,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,342,667	1,419,757
機械装置及び運搬具（純額）	1,860,133	1,791,201
土地	2,543,918	2,543,918
その他（純額）	538,457	428,202
有形固定資産合計	6,285,177	6,183,080
無形固定資産	87,430	74,257
投資その他の資産		
投資有価証券	3,038,170	3,470,710
その他	649,095	644,385
貸倒引当金	△12,991	△12,991
投資その他の資産合計	3,674,273	4,102,104
固定資産合計	10,046,882	10,359,442
資産合計	19,272,341	20,325,084

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,201,218	1,338,508
1年内返済予定の長期借入金	—	300,000
未払法人税等	237,890	206,901
賞与引当金	301,232	403,635
役員賞与引当金	31,867	17,065
その他	944,290	608,395
流動負債合計	2,716,497	2,874,506
固定負債		
長期借入金	700,000	900,000
役員退職慰労引当金	195,897	196,793
退職給付に係る負債	648,454	684,660
その他	356,611	442,675
固定負債合計	1,900,963	2,224,129
負債合計	4,617,461	5,098,635
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,126	863,126
資本剰余金	553,778	553,778
利益剰余金	12,472,286	12,845,886
自己株式	△31,276	△31,336
株主資本合計	13,857,915	14,231,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	725,028	939,448
為替換算調整勘定	71,936	55,544
その他の包括利益累計額合計	796,964	994,993
純資産合計	14,654,880	15,226,448
負債純資産合計	19,272,341	20,325,084

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
売上高	5,600,003	5,960,408
売上原価	4,533,245	4,785,221
売上総利益	1,066,758	1,175,187
販売費及び一般管理費	582,577	651,886
営業利益	484,180	523,301
営業外収益		
受取配当金	16,255	19,967
持分法による投資利益	—	37,820
助成金収入	29,595	14,601
スクラップ売却益	30,512	29,109
その他	20,212	32,561
営業外収益合計	96,575	134,061
営業外費用		
支払利息	396	891
シンジケートローン手数料	—	1,578
持分法による投資損失	11,085	—
その他	3,563	1,628
営業外費用合計	15,045	4,099
経常利益	565,710	653,264
税金等調整前四半期純利益	565,710	653,264
法人税等	197,353	219,629
四半期純利益	368,357	433,634
親会社株主に帰属する四半期純利益	368,357	433,634

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年11月1日 至 2022年4月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年11月1日 至 2023年4月30日）
四半期純利益	368,357	433,634
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,198	202,014
為替換算調整勘定	12,490	△11,581
持分法適用会社に対する持分相当額	8,104	7,595
その他の包括利益合計	48,794	198,028
四半期包括利益	417,151	631,663
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	417,151	631,663

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年11月1日 至 2022年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃事業	工作機械 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,526,581	1,053,792	5,580,374	19,629	5,600,003	—	5,600,003
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,662	6,662	7,332	13,995	△13,995	—
計	4,526,581	1,060,454	5,587,036	26,962	5,613,999	△13,995	5,600,003
セグメント利益	419,869	182,712	602,581	172	602,753	△118,573	484,180

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、IT/IoT/AI事業、木材関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△118,573千円には、セグメント間取引消去3,823千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△122,396千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年11月1日 至 2023年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃事業	工作機械 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,964,245	974,651	5,938,897	21,511	5,960,408	—	5,960,408
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,608	6,608	1,917	8,526	△8,526	—
計	4,964,245	981,260	5,945,505	23,429	5,968,934	△8,526	5,960,408
セグメント利益 又は損失(△)	527,460	129,059	656,520	△2,254	654,265	△130,964	523,301

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、IT/IoT/AI事業、木材関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△130,964千円には、セグメント間取引消去3,307千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△134,272千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。